

若葉区区民対話会 (防災・防犯に関する地域活動)

1 消防団

普段は、それぞれ自分の仕事を持ち、いざ火災や地震などの連絡が入ると、急いで災害現場に駆けつけ、消防職員と協力して災害現場活動し、市民と街を守り安全で災害のない街づくりのために活躍しています。

○ 若葉区 消防団員数：243人 【平成22年4月1日現在】

2 自主防災組織

大規模災害が発生した場合、一人の力では限界があります。自主防災組織とは、地域に住む皆様が平常時からお互いに協力し合い、「自分たちのまちは自分たちで守る」ということを目的に結成される防災組織をいいます。

○ 若葉区 登録数：144組織 【平成22年4月末現在】

3 赤十字奉仕団

赤十字奉仕団は、赤十字のボランティア活動を通して、地域社会を住みよくしようという気持ちを持った人々の集まりです。

赤十字の人道と博愛の精神に根ざしたボランティア活動を、地域において展開しています。

【主な活動】

災害時救護、救急法・家庭看護法の普及、献血の推進、高齢者福祉の向上、社資増強への支援

○ 若葉区 団員数：270～280人

4 防犯パトロール隊

犯罪の多くは、街頭や住宅など私たちに身近な場所で起きています。安全に安心して暮らせるまちをつくるためには、一人ひとりが防犯に対する意識をもち、地域全体で協力し、犯罪の起きにくい環境をつくるのが大切です。

防犯パトロール隊とは、地域住民の方々が集まって、自主的に防犯活動を行う団体のことです。

市民による防犯パトロール活動が行われている地域では、空き巣や車上狙いの被害が大幅に減少するなど、確実に効果が上がっています。

○ 若葉区 登録数：108団体 【平成22年4月末現在】

5 学校セーフティウォッチャー

千葉市教育委員会では「地域の子どもは、地域で守る」を基本に、平成17年度から千葉市学校セーフティウォッチ事業を行っています。

千葉市の各学校区では、子どもたちの登下校中の安全を確保するため、PTA・保護者会やボランティア、青少年育成委員会、町会自治会等の多くの方々に、巡回や見守りの活動をしていただいております。子どもたちが安心して通学できるよう「いつでも、どこかで、誰かが、子どもたちを見守る」制度です。

○ 若葉区 登録数：2,000人 【H21年度末】

6 防犯ウォーキング

皆さんがいつも行っている普段の犬の散歩、ウォーキングやジョギング。そのときに、ちょっと防犯についての意識を持っていただくことが、地域の安全を守ることにつながります。

「防犯ウォーキング」は、個人の方によるボランティア活動です。そのため、都合のいい時間に無理せず、気軽にパトロールを行っていただきます。

活動中は、積極的に挨拶をしたり、声をかけたりしてください。このことが、防犯についての意識を高め、地域の方々のきずなを強くすることにつながり、犯罪を未然に防ぐことができます。

○ 若葉区 登録数：1,334人 【平成22年4月末現在】